

# 一般社団法人東京高専技術懇談会ニュース

2010年2月、3月合併号

一般社団法人東京高専技術懇談会発行

## 水谷惟恭校長先生が3月末をもってご退官されます

東京高専の水谷惟恭校長先生は、3月31日をもって4年間の任期を終えられご退官されます。平成18年にご着任以来数々の成果を上げられました。第2棟の校舎改修に始まり、順次第3棟、第1体育館、第1棟、学生食堂とこの4年間で校舎は真新しくなりました。外部資金の導入にも積極的に取り組まれました。それまで4000万円台で推移していた総額は、平成20年度、21年度には1億4000万円を超えるまでになりました。

学生達にも直接メッセージを届けるため、前後期の全校集会を定例化されました。学生達には温かい視線で、自信と誇りを持って進みなさいと常に激励されました。

技術懇談会にも積極的に関わられました。総会をはじめ、匠塾や各種講演会では必ず学校を代表してご挨拶をしていただきました。本会の一般社団法人化に際しても多大のご尽力をいただきました。

ご退官後は、豊橋技術科学大学の監事ならびに国立高専機構の顧問にご就任の予定です。水谷先生の益々のご活躍とご健勝を会員の皆様とともに祈念いたします。

なお、新校長には東京工業大学大学院理工学研究科教授の古屋一仁先生が就任されます。

## 第41回卒業証書授与式が挙行されました

3月19日(金)、東京高専の第41回本科卒業証書授与式ならびに第6回専攻科修了証書授与式が八王子市芸術文化会館いちょうホールで挙行されました。本年度は本科176名、専攻科23名の計199名の卒業生がくぬぎだの丘を後にしました。

式には本会から大田会長、安藤副会長、岡村理事、川崎理事、濱田理事、本目理事代行が来賓として出席されました。

式は国歌斉唱の後、卒業証書授与、修了証書授与、校長告辞、卒業生答辞、修了生答辞、来賓祝辞と続きました。来賓として、八王子市黒須市長、多摩信用金庫佐藤理事長、並木同窓会長が祝辞を述べられました。最後に校歌斉唱で閉式となりましたが、荘厳な中にも心温まる卒業式となりました。

## 東京高専専攻科特別研究発表会が開催されました

2月6日(日)、専攻科2年生の特別研究発表会が八王子学園都市センター12階のイベントホールで開催されました。本会は共催団体として支援をしま

した。今年度は機械情報システム工学専攻11名、電気電子工学専攻8名、物質工学専攻4名が2年間の研究成果を発表しました。

今年度も東京工業大学大学院と東京医科歯科大学大学院の先生方にも参加していただきました。さらに、国立高専機構の『企業技術者等活用プログラム』の一環として、企業技術者や卒業生の参加も得て、研究テーマや内容について評価をしていただきました。様々なコメントが寄せられ、今後の研究指導におおいに生かされるものと期待されます。

毎年本会は優秀な発表をした学生に奨励賞を授与しています。本年は次の諸君が奨励賞に輝きました。

|              |       |
|--------------|-------|
| 機械情報システム工学専攻 | 神津友貴君 |
| 機械情報システム工学専攻 | 山科貴裕君 |
| 電気電子工学専攻     | 井潟大樹君 |
| 電気電子工学専攻     | 渡部五常君 |
| 物質工学専攻       | 土戸良高君 |

発表会に続き、本会主催の懇親会を同センター11階のレストラン『ル・クレール』で開催しました。奨励賞の表彰式と、恒例となっている大田会長からの発表者一人ひとりに対する講評がなされました。

## 東京高専の研究資源見学会を行いました

1月21日(木)、東京高専の研究施設及び研究室の見学会を実施しました。開会に先立ち、水谷惟恭校長先生から本会の東京高専に対する様々の支援・協力に感謝が述べられました。

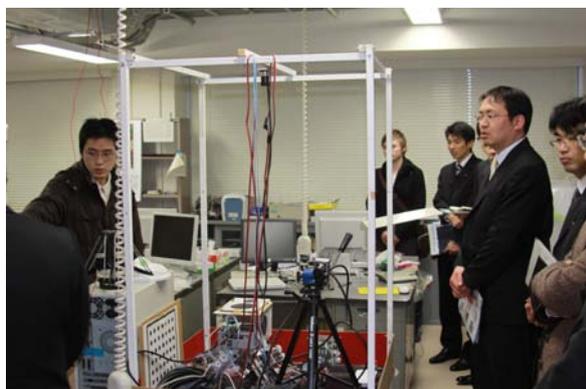
見学会には10社21名の参加を得ました。産業技術センター、ものづくり教育センター、機械工学科多羅尾研究室、電子工学科安田研究室を2班に分かれて見学しました。

産業技術センターでは今年度から東京高専のインキュベーションルームに入居している合同会社微細加工研究所の最新装置を見学しました。ものづくり教育センターでは今年度購入したワイヤーカット装置の見学を行いました。機械工学科の多羅尾研究室ではロボットに関する研究について、電子工学科の安田研究室では医工学に関する研究について5年生や専攻科生から説明がありました。研究室での説明では、研究上苦労していることや失敗の経験などについても説明があり、発表会とは違った面から研究に対して理解が深まったとの感想が寄せられました。

参加の皆さんは大変熱心で、予定の時間を大幅に超過して様々な質問が出され、充実した見学会になりました。見学会に続く懇親会では、本会会員と東京高専教職員の活発な情報交換が行われました。



ものづくり教育センターで説明を受ける見学者



多羅尾研究室の卒業研究について学生から説明を受ける見学者

### 本会会員(株)エリオニクス様から東京高専に装置が寄贈されました

本会会員の(株)エリオニクス様から東京高専産業技術センターに同社製『超微小押し込み硬さ試験機』が寄贈されました。この装置は薄膜や極表面層の硬度を測定するものです。数ナノメートルの押し込み深さで、優れた再現性と安定性を誇る世界トップクラスの装置です。1月26日(火)にご寄付に対する感謝状贈呈式が行われました。式には本会会長、牧内社長、水谷校長、福田専攻科長はじめ関係者が列席しました。式では水谷校長からの感謝状の贈呈、寄贈に対する感謝の挨拶が行われました。この後、実際に装置を使用して特別研究を進めている専攻科2年の神津君からデモンストレーションが行われました。今後、本科の卒業研究や専攻科の特別研究での利用が予定されています。

なお、産業技術センターでは本会会員に対しても同装置による測定を受け付けています。遠慮なくお申し出下さい。



寄贈を受けた装置(左のボックスが本体)

### 第2期『匠塾』が中止になりました

3月開催予定で応募をしていました第2期匠塾は、再三のアナウンスにもかかわらず予定数を大幅に下回る7名しか受講希望者が集まらず、止む無く中止となりました。今般の不況による影響が大きいものと思われます。一方で、このような講習会に社員を派遣した場合、国から補助金の支給がなされることを必ずしも多くの企業が熟知していないことも原因と考えられます。来年度は告知の方法を再検討し、是非とも開催にこぎつけたいところです。

応募頂いた会員企業の皆様には大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

### 柵田の風を同封します

東京高専の学内便りとも言える『柵田の風』を同封します。今回は、卒業式特集号であるとともに、ご退官される水谷校長先生の『さよなら講話』も掲載されています。

本科及び専攻科の進路状況や学内での様々なイベントの様子が写真入で記されています。東京高専の教育活動を知るための資料としても価値あるものと思います。是非ご一読下さい。なお、柵田の風は年2回発行されますが、今後は継続して本会会員の皆様にもお届けする予定です。ご期待下さい。

### 事務局より

一般社団法人化して2年目を迎えようとしています。

会員の皆様からのご要望を受けて、様々な活動を行っていく予定です。是非ご意見をお寄せ下さい。



mitani@tokyo-ct.ac.jp